

人権アラルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

カエルの鳴き声は騒音？

田んぼの持ち主様へ

カエルの鳴き声による騒音に毎年悩まされています。
鳴き声が煩わしくて眠ることができず非常に苦痛です。
騒音対策のご対応をお願いします。 近隣住民より

ある日、田んぼに1枚の張り紙が落ちていたと、Twitterで話題になりました。田んぼの多い地域に育った人にとっては、カエルの鳴き声は馴染み深いものでしょう。Twitterでは「普通に夜寝れます」「田舎を感じられてめちゃいいっすよ」「気になったためしがない」などの声が多数寄せられています。

しかし、過去にはカエルの鳴き声をめぐり、裁判にまで発展したこともあります。自宅の隣地の池にいるカエルの鳴き声が「受忍限度（常識的に考えて我慢できる限度）を超える」として、隣地の居住者に慰謝料75万円の支払いと、すべてのカエルの駆除を求めたのです。

これに対し、裁判所は、仮に原告の主張するような大きな音が発生していたとしても、カエルの鳴き声は「自然音の一つ」と指摘。被告があえて大きな音が発生させていたなどの事情がない限り、騒音にはあたらず、社会通念上受忍すべき限度を超えるようなものとはならないと示したうえで、原告の請求を棄却しました。

農家の方にとっては、稲を育ててお米を収穫するのは仕事であり、カエルは自由に田んぼにやってきて鳴いているわけで、田んぼの持ち主がカエルを鳴かせているわけではありません。さらに、カエルは害虫を食べて駆除してくれますし、カエルの糞が田んぼの肥料にもなります。カエルは農家の方にとって大事な生き物なのです。

私たちは生活する中で、さまざまな自然の音に囲まれて生活しています。それらの音の中には、私たちの心地よさや安心感を与える「音楽」と感じるか、反対にストレスや煩わしさを感じさせる「騒音」と感じるかは、それぞれの感じ方次第ですが、その感じ方を互いに理解することも大切です。そして自然と共生していることを実感しながら生活することで、より良い環境を互いに創り出していけることも忘れないようにしたいですね。

